



年頭に当たって

当社 取締役社長 三宅 誠二

新年あけましておめでとうございます

昨年末には総選挙もあり、慌ただしい日々のお正月を迎えられた方も多かったのではと思います。さて、安倍政権が発足して2年強となりました。アベノミクス効果で景気も上昇に転じたとの見方がある一方、やはり消費税増税の影響は予想以上に大きく、一部を除いてアベノミクスの恩恵はまだまだ末端まで浸透していないという感想を持たれる方も多いように思われます。農業に関しては、既に実行されている新たな政策に加え、農協改革の議論、継続するTPP交渉といったように様々な課題がありますが、一方で、暴落といってもよいほどに下落した米価が本年は持ち直していくことができるのか、大変気にかかるところです。その中で大規模化の着実な進捗など農業の世界の変化はいよいよ本格化しており、今後どのような政策が採用されるにせよ農業そのものが市場原理の浸透とともに、より経済合理性に則った業態に変わりつつあることは否定できない流れと思われます。例えば多くのフィールドで外食、中食産業或いは量販、コンビニといった農作物に対し様々なニーズを持つ多くの実需者が自身のニーズをより安定的に競争力ある形で満たすために、直接産地に、或いは産地に近いところまで遡及して契約をする傾向が増えており、生産者は実需の動向を把握して栽培をする必要性に益々迫られております。また農業に関連しながらも別の業界に属するプレイヤー同士が、横展開で連携を深めて地域の農業振興に貢献する、このような流れも顕在化してまいりました。私どもも、肥料等の農業資材の供給を通じ、また関係メーカーとも歩調を合せ、或いは農業関連の他業界とも情報共有を進めることで、変化が進む農業現場でいささかなりとも貢献できればと考えております。昨年は大雪にはじまり、洪水、火山噴火など自然災害に多く見舞われた年でした。本年平成27年は穏やかな天候で進み、MAC ジャーナルをお読みいただいている農業関係の皆様にとりすばらしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

なまらすごいっしょ！北の大地 『北海道』

北海道農業はTPP等いくつかの課題はあるものの、広大な土地を背景に日本の食糧基地として揺るぎない存在です。とりわけ円安に伴い輸入農産物がコストアップする中で、益々注目が高まっている北海道農業を今号ではご紹介します。

■北海道の農業事情

北海道の総土地面積は東北6県と長野県を合わせた面積にほぼ匹敵します。このうち耕地面積は115万ヘクタールで全国の耕地面積の約25%、国産供給熱量の約2割を供給する我が国最大の食料生産地域であります。主な生産品目は道央地帯で水稻、野菜、牛肉、道南地帯で米、野菜、施設園芸など、道東(畑作)地帯で小麦、大豆、小豆、ビート、馬鈴しょ、畜産など、道東(酪農)・道北地帯では草地形の大規模な酪農経営が行われており、それぞれの地域ごとに特色のある農業が展開されています。

この一年を振り返りますと、このところの異常気象は北海道にも影響を及ぼしており、春先の早魃と記録的な長雨により作物によっては少なからず影響を受けましたが、夏後半からは冷涼な気候が続き、作柄は概ね良好でした。また、ここ数年高温と早魃により収量と糖度が上がらず、生産者が減り

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

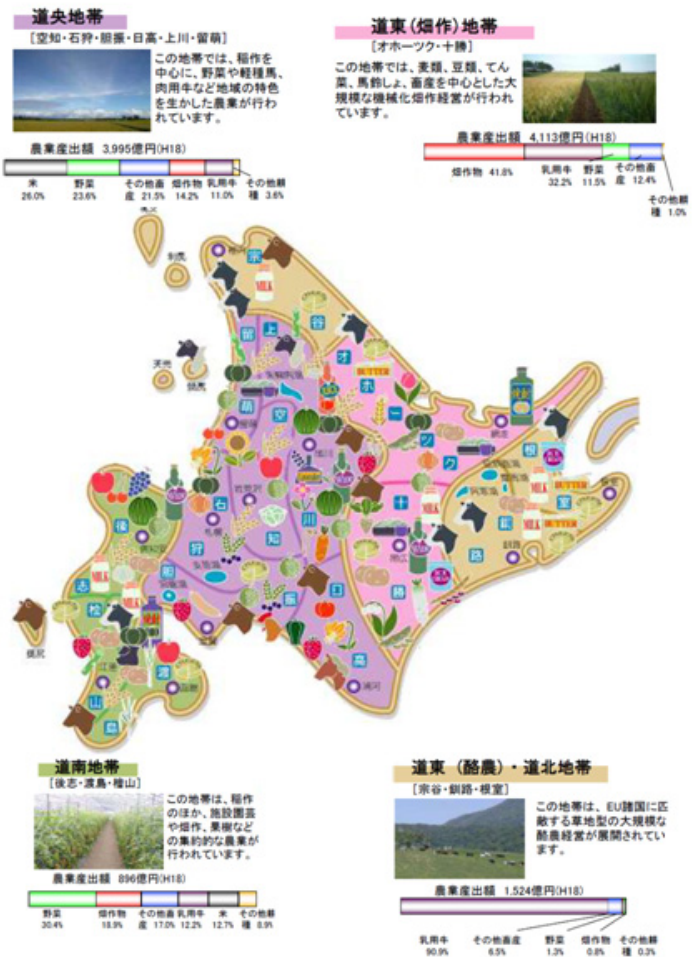
続けていたビート(てん菜)は久しぶりの高成績となりました。しかしながら、価格面では小麦、馬鈴薯、ニンジン、小豆などが振るわず少々残念な結果となりました。

■北海道の農業構造の変化

平成26年9月付の北海道農政部「北海道農業・農村の現状と課題」によりますと農家戸数は昭和60年に比べ40%に減少、農業就業者の内65歳以上比率は3割を超えて推移しています。しかしながら耕地面積は殆ど減少しておらず、また農業生産高も1兆円程度を維持しています。結果として、耕作地の集約化が進み、農業経営体規模が大きくなったと言えます。しかし、平成37年には現在4万戸の農家戸数は2.6万戸まで減少するとの予測(北海道立総合研究機構農業試験場資料より)もあり、引き続き厳しい状況にあることは論を俟ちません。

■北海道の食品・地域は高いブランドイメージ

日経リサーチ(地域ブランド戦略サーベイ2013)によると、北海道のブランドイメージは国内外より高く評価され、都道府県ブランド力はランキング1位、特に農畜産物・食品は高い人気を誇っております。皆様のお近くのデパートなどでも「北海道物産展」が大人気となっております。また、ここ数年アジアからの観光客も増加傾向にあります。



出典：北海道農政部 北海道農業・農村の現状と課題 (H26.9)
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/grp/01/090131_genzyoutokadai.pdf

◎地域のブランド力(日経リサーチ地域ブランド戦略サーベイ2013より)

- ①北海道 ②京都府 ③沖縄県 ④東京都 ⑤大阪府

◎名産品

- ①讃岐うどん ②博多辛子明太子 ③ 白い恋人 ④夕張メロン ⑤京都八つ橋

◎アジア圏観光客の訪問したい地域(日本政策投資銀行)

- 《北京》 ①富士山 ②北海道 ③東京 《台湾》 ①北海道 ②京都 ③富士山
 《香港》 ①北海道 ②東京 ③富士山 《タイ》 ①富士山 ②東京 ③北海道



農業は水産業や観光とともに北海道の基幹産業です。私ども札幌支店も微力ながら北海道農業の発展・拡大に寄与すべく尽力して参ります。(札幌支店)

あけましておめでとうございます。皆様はどんなお正月休みをお過ごしでしたでしょうか。2015年は未年ですね。未は家族の安泰と平和の象徴ですので、皆様の一年が穏やかである事をお祈り申し上げます。今年も情報発信に努めて参りますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>